

モモガニ漁獲規制によりブランド蟹を増やす

海洋センター

問い合わせ先:海洋センター研究部 0772-25-3076

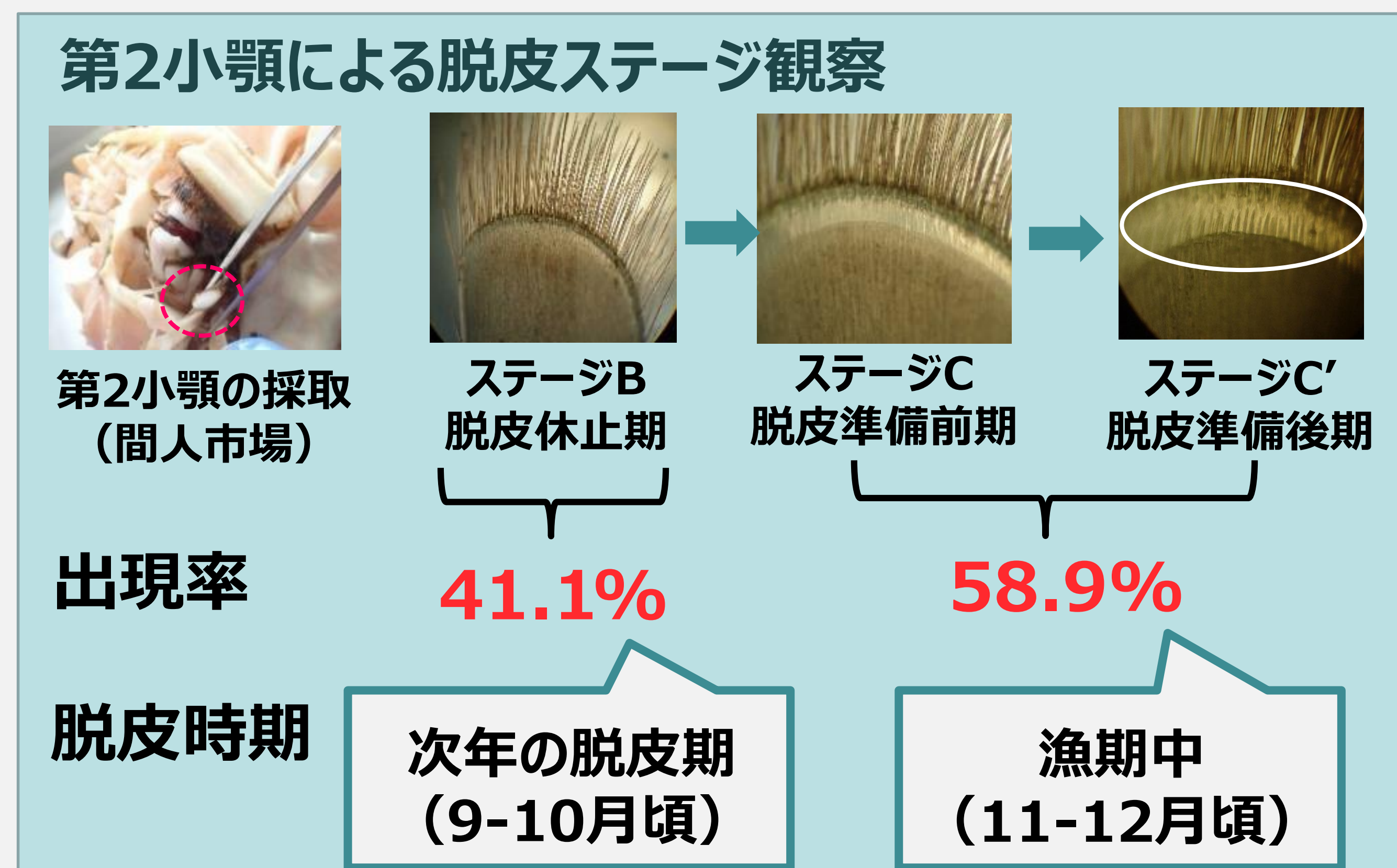
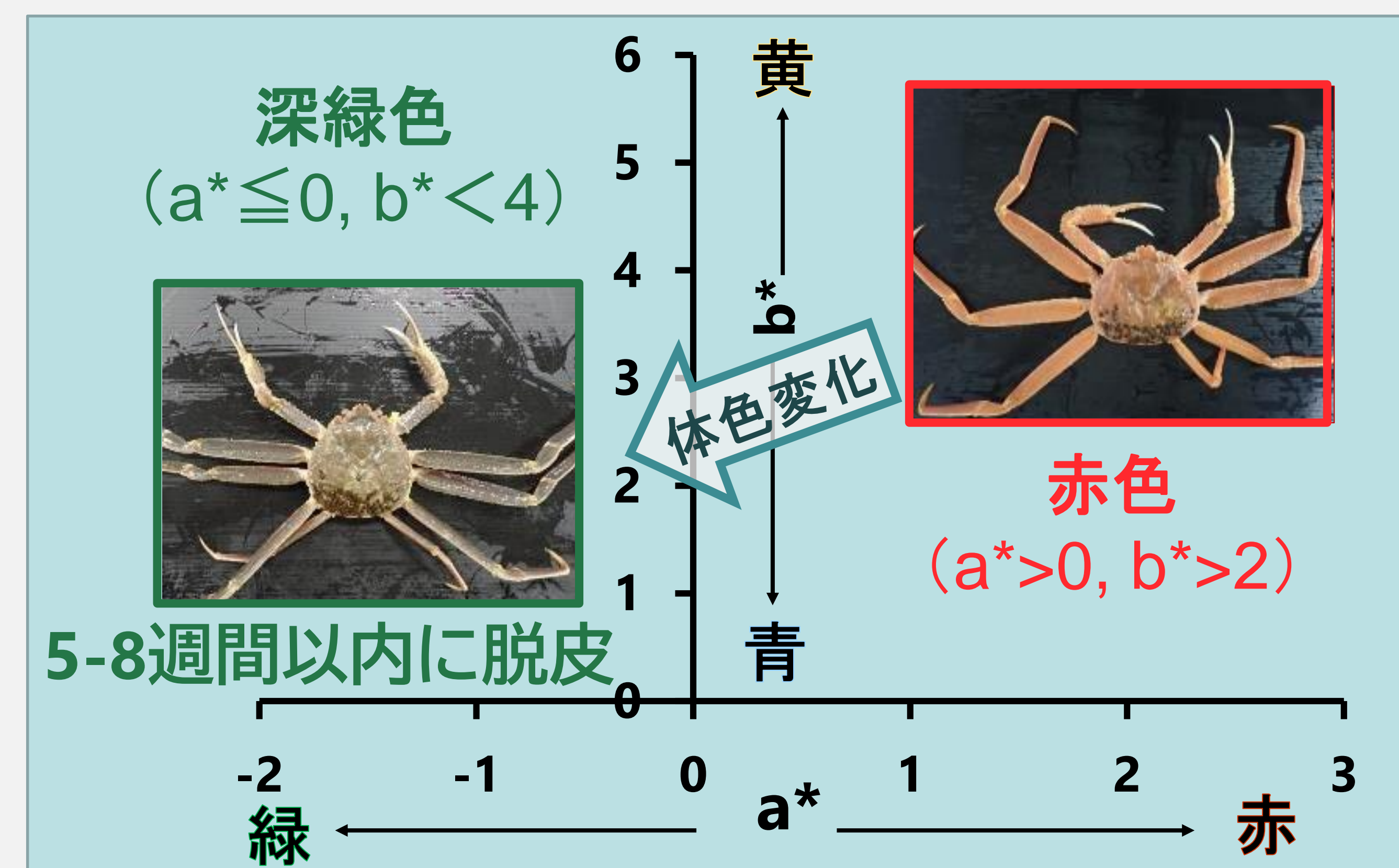
- 未成熟で、市場価値が低い雄ガニ（モモガニ）の脱皮・成長過程を

主な成果 明らかにしました。

- モモガニの漁獲規制したとき（漁獲しない場合）のブランド蟹の増加割合を推定するシミュレーションモデルを開発し、その資源管理効果を明らかにしました。

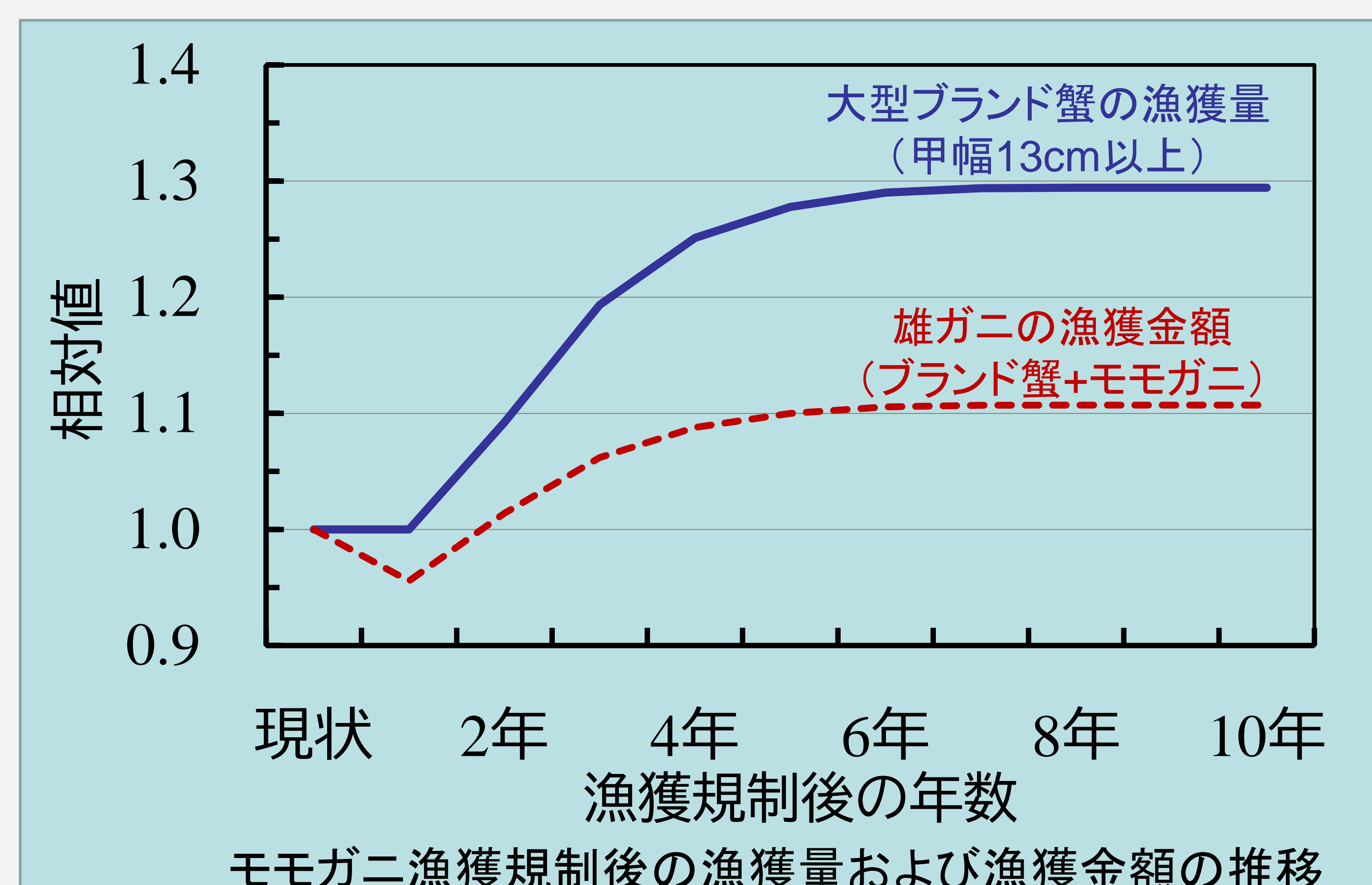
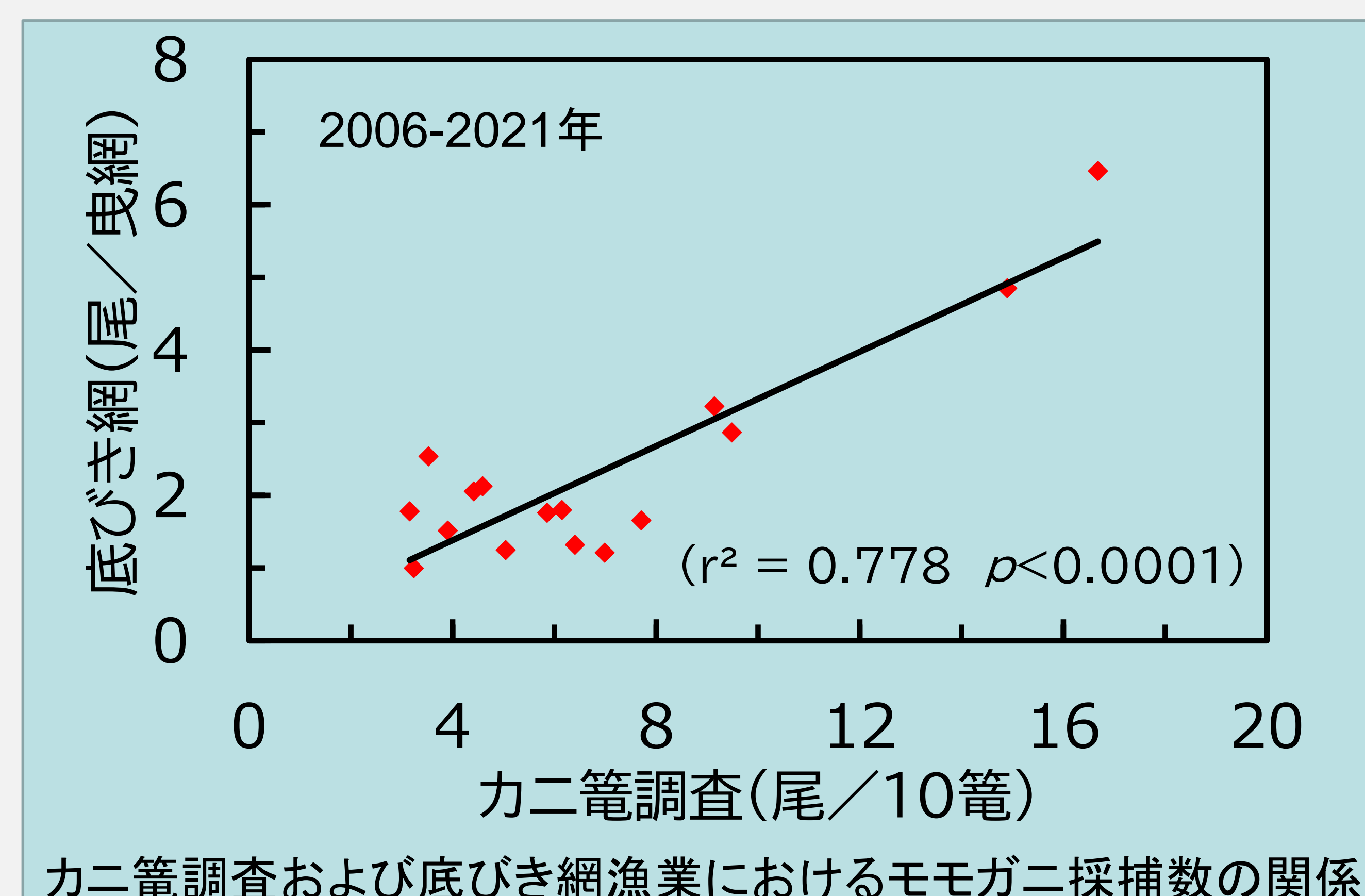
- モモガニは体色が深緑色になると5-8週間以内に脱皮

- モモガニの60%が漁期中、40%が次年の脱皮期に脱皮



- 平安丸による漁期前のカニ籠調査でその年のモモガニ出現状況が予測可能

- モモガニ漁獲規制により、大型ブランド蟹の漁獲量が30%、雄ガニの漁獲金額は10%増加



期待される波及効果

- モモガニの漁獲を規制することで、大型ブランド蟹の漁獲量が30%増加。また、雄ガニ漁獲金額は一時的に減少するが、減収分は3年後には取り戻せ、4-5年後には10%増加(約245万円/隻)が期待
- 府北部地域の重要な観光資源でもあるブランド蟹の安定供給が可能となり、集客数の増加が期待